

つばさ訪問リハ通信

H28. 11
Vo1.3

つばさクリニック・つばさ訪問リハビリテーション事業所

事業所番号：1110208827

〒332-0035 埼玉県川口市西青木5丁目11-19メゾン西青木101

TEL：048-299-7886 FAX：048-299-7887

はじめに

1 はじめに

晩秋の候、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。このたび当事業所の広報(Vol.3)を作成させていただきました。みなさまでご一読していただければ幸いです。ご不明な点等ございましたらご連絡ください。

2 NEWS!!

3 PT 介入の一例

4 対象者の一例

5 訪問リハビリの内容・事例紹介

NEWS!!

■9月より**言語聴覚士(ST)**による**訪問リハビリテーション**

サービスを開始致しております！サービスの提供は水曜日となっております。

STについてわからないことや空き状況について等お気軽にご相談ください。

■訪問相談は無料にて対応いたします。訪問リハビリについてお悩みの方がいらっしゃいましたらご連絡ください！

ご相談・ご依頼お待ちしております。



在宅生活における利用者様・ご家族様1人ひとりの目標や願いを叶える為の一助となるように、スタッフ一同、一生懸命頑張ります!!

口腔ケアについて

医療業界、介護業界では、よく耳にすることが多くなった「口腔ケア」ですが、定義はいまだ統一されておらずその捉え方は様々です。

口腔ケアは、「**器質的口腔ケア**」と「**機能的口腔ケア**」の2つに分類することができます。

器質的口腔ケアとは、口腔衛生状態を良好にするための「口腔清掃」のことです。器質的口腔ケアにより口腔内を清潔に保つことは、誤嚥性肺炎や、その他の気道感染予防につながるとされていますが、それのみでは必ずしも満足な結果は得られないといわれています。そこで重要となるのが、機能的口腔ケアです。

機能的口腔ケアでは、舌・口唇・頬などの口腔器官の運動訓練をはじめ、発声・発語訓練、嚥下機能訓練、呼吸器に対する訓練など多岐にわたります。

当事業所では、言語聴覚士による評価のもと利用者様方の状態に合わせてプログラムの立案をし、必要に応じて各種機関との連携を行ってまいります。また、口腔にかかわる生理、機能、審美の改善保持を通して、利用者様の全身の健康の維持増進及びQOLの維持向上を図るためのトータルケアを目指し取り組んでいきたいと考えております。

PT 介入の一例

慢性的な腰痛・下肢のしびれにより活動制限が生じている利用者様

症例: 81 歳男性 奥様と同居 **診断名**: 脊柱管狭窄症 (4 年前に ope 施行) **介護度**: 支援1
 こだわりが強く、他者との交流や旅行(以前)が好きな方

サービスに至る経緯

平成 27 年 11 月に転倒後、腰痛増悪、杖 2 本での屋外散歩及び近くのスーパーへの買い物ができなくなる。その後福祉用具として歩行器をレンタルするも再転倒。それ以降屋外歩行が困難となり、今回、筋力強化・屋外歩行の安定性向上を目的に訪問リハビリ開始となる。

介入時の状態

脊柱管狭窄症の後遺症にて下肢のしびれ・疼痛及び慢性的な腰痛、体幹・下肢の著名な筋力低下が生じていた。立位保持・屋内歩行は可能だが、バランス能力の低下・前かがみの姿勢となり屋内においても疲労しやすく、長距離の歩行は困難となっている。

主訴: 腰が痛くて歩けない。腰が痛くて仰向けになって寝ることが出来ない。

ご本人の希望: 歩いて買い物に行きたい(出来れば T 字杖 1 本で)。奥様とまた旅行に行きたい。

ご家族の希望: 動作の安定性の向上。外出機会の増加、旅行へまた行きたい。

リハビリ目標

- ① 下肢・体幹の筋力強化及び腰痛緩和による歩行能力の向上
- ② H28 年 9 月 7 日より週 1 回理学療法士による介入を開始。

リハビリ内容

- ① 関節可動域訓練
- ② 筋力トレーニング
- ③ 立位でのバランス練習・歩行練習
- ④ 腰部への負担の少ない動作の指導
- ⑤ 自主トレーニング指導

介入から現在までの様子

- 9 月 21 日 股関節の可動域の改善・腰痛軽減にて仰向けでの睡眠が可能となる。
 9 月末 三輪車を用いて奥様と外出(外食・買い物)に行かれる。屋内での杖歩行自立レベル
 10 月中旬 自宅での庭仕事・屋内掃除など活動性の向上がみられる。
 10 月末 歩行器歩行にて近隣かかりつけ医まで通院可となる。(以前は三輪車にて何とか)

今後の目標及びご本人様の希望

- ① 継続的な筋力トレーニングと腰痛コントロールを ご自身で出来るようになる。
- ② 杖歩行の安定性を向上させ、屋外散歩や買い物等を行なえるようになる。

まとめ

この利用者様は、以前は旅行や地域の清掃活動などを積極的に行われておりました。また、安定した歩行能力の再獲得を強く希望されており、自主トレーニング等も自主的に行なっていただけました。

その為、週 1 回の介入ではありますが、筋力トレーニングをはじめ、ご自宅での実際の環境下での動作指導を行なうことで効率的に効果をもたらすことができました。

ご利用者様の意欲・自主性を高い位置で保ち、また、さらなる意欲を促していくことも私たちの重要な役割だと考え、今後も訪問リハビリを行ってまいります。

自主トレーニングについて

私たちが提案する自主トレーニングは、ご利用者様の体力、筋力のもとより、生活習慣、性格、御年齢を考慮し行っていただく内容、頻度、負荷量、種類を変えています。また疾病によっても行った方がよいもの、行わない方がよいものといったことがありますので、ご利用者様の運動についてお困りの際はご連絡頂ければと思います。よろしくお願ひ致します。

